

民話

ゆわ座



- 話に遊び 輪を結び 座に集う -

「民話 ゆわ座」では、誰もが知っている日本の民話を題材に、「みやぎ民話の会」が約45年にわたって記録してきた、民話語りの映像や音声を見たり聞いたりします。聞きくらべて感じたみなさんの思いや考えを自由に語り合う場です。先祖の声に耳をすませ、民話世界に遊び、心ひかれることを語り合ってみませんか。



考えるテーブルとは…

人が集い語り合いながら震災復興や地域社会表現活動について考えていく対話のための場です。

さまざまなスタジオ協働団体やメディアテークがホストをつとめ、黒板に仕立てたテーブルをメディアとし、ライブで語り合います。

<http://table.smt.jp/>

「考えるテーブル」で行われるさまざまなイベントのスケジュールやこれまで開催されたイベントのレポートを閲覧できます。

smt せんだいメディアテーク
仙台市青葉区春日町 2-1
022-713-4483



『民話のなかのキツネたち』

第五回 いまここにも開いている民話の入口

「キツネに化かされた」なんて話を聞いたなら、皆さんはどう感じますか？
日本には、そのような数多くの「キツネのはなし」があります。多様な姿で語られるキツネを、人々はどのように見つめてきたのか、皆さんと一緒に考えたいと思います。

2018年2月4日(日) 午後1時半から午後4時半まで
せんだいメディアテーク 1f オープンスクエア

お問い合わせ saras919@soleil.ocn.ne.jp (みやぎ民話の会・小田嶋)
主催 みやぎ民話の会「民話声の図書室」プロジェクトチーム・せんだいメディアテーク
助成 一般財団法人地域創造

申込不要・参加無料・直接会場へ

第五回 いまここにも開いている民話の入り口

『民話のなかのキツネたち』

「キツネに化かされたことはありますか？」こう尋ねると、「実はこんな体験をしたことがあって…」と、語り出す人もいるかもしれません。キツネが登場する話は数え切れないほど存在し、身近な人が体験した「実話」として語られるものも多くあります。そこには、賢いキツネやドジなキツネ、人を化かすキツネや退治されるキツネ、いろいろなキツネが登場します。どうして日本では、これほどまでに多くの「キツネのはなし」が生まれたのでしょうか。キツネの姿に、人々はなにを託してきたのでしょうか。人とキツネの関係を探ってみると、現在に通じる何か^{いま}が隠れているかもしれません。

民話 ゆわ座の流れ

『民話 ゆわ座』について 小田嶋利江

伝承の語り手が語る『キツネ話』の映像を観る

『キツネの見込み違え』伊藤正子さん（宮城県登米市迫町新田・大正十五年〜平成二十九年）

採訪者の目でとらえた『キツネ話』について 〈話題提供〉小野和子

さまざまなキツネたちの姿 その一 〈進行〉島津信子

『キツネとツブの競走』佐久間クラ子

『海をわたったキツボ』堀之内優樹

『キツネのあん餅屋』柴田民雄

『キツネと法印さま』小野津仔

『偽本尊』山田和郎

（語りはみやぎ民話の会語りグループによる）

みなさんと感想や意見の交換 その一

なんでこんなにキツネの姿はいろいろなの…人とキツネのかかわりは…

〓〓 休憩 〓〓

さまざまなキツネたちの姿 その二 〈進行〉山田裕子

『キツネと小太郎』目黒とみ子

『医者先生とキツネ』長須賀直子

『キツネと産婆さん』倉林恵子

『キツネにひかされたお婿さん』及川敏恵

（語りはみやぎ民話の会語りグループによる）

みなさんと感想や意見の交換 その二

なんでこんな話なんだろう…なにを伝えようとしているのかな…



※「民話 声の図書室」とは…

「民話 声の図書室」は、「みやぎ民話の会」が約45年にわたって記録してきた、宮城県を中心とする民話語りの映像・音声、せんだいメディアテークと協働し、だれもが活かせる共有財産として、未来へ受け渡していこうとする活動です。これまでに、7名の伝承の語り手による民話語りのDVDが18タイトル完成し、せんだいメディアテーク2「映像・音響ライブラリー」に配架されています。閲覧・貸出が可能です。土地の声で語られる民話に、ぜひ耳をすませてみてください。